

～闘魂記～

「闘魂」…魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第3学年

第37号 2024年 5月13(月)

学年目標 「自主・自立」

「 自主・自立を目指して 」

修学旅行まであと5日となりました。この修学旅行に向けて皆さんは、約3か月前から準備を進めてきました。具体的には、生活班、行動班、バス座席、新幹線座席、修学旅行中のきまり、また京都・奈良での班行動計画など実行委員を中心に自分たちで相談して決めてきました。また、何のために修学旅行に行くのか、何を学びに行くのかなどの「目的」についても話をし、その「目的」が達成できるよう実行委員でスローガンを決定しました。

修学旅行のスローガンは

「 温故知新 ～京都と奈良に行く鹿ない！～ 」

です。温故知新とは「昔のことを訪ね求めて、そこから新しい知識や見解を導くこと」という意味があります。修学旅行では京都と奈良の歴史とSDGsを学ぶことが一番の目的です。その目的を達成するには「温故知新」という言葉は修学旅行のスローガンにとっても合っている言葉であり、しっかりと学びのある修学旅行にしていこうという思いが込められています。

また、歴史と現代のSDGsを学ぶには京都や奈良はうってつけの修学旅行先であり、だからこそ「京都や奈良に行くしかない！」という気持ちもこのスローガンに込めました。さらになぜ、「行く鹿ない」の「しか」は「鹿」なのか？については、メインのスローガンが「温故知新」という少し堅いイメージがあるので、あまり堅苦しくならないようにという意味と、やっぱり修学旅行を楽しんでほしいというユーモアを取り入れ、修学旅行を中学校生活の最高の思い出にしていこうという学年全体の意思を表現しました。

この修学旅行は一年生から積み上げてきた行事（川越校外学習、スキー教室、職場体験、都内巡り）全ての経験を活かす集大成の行事です。班での行動、宿舎内での過ごし方、公共の場でのマナーなどは既に一年生から積み上げてきた行事で学習してきました。それらを見知らぬ土地で行動範囲が大幅に広がる中、さまざまな場面で誰かに何かを言われる前に自分たちで率先して正しく判断し、見学地先で多少のトラブルがあっても班員と協力して対応、行動していけるか（自主・自立）が試されます。一生に一度の修学旅行です。生徒一人一人が「自主・自立」を目指し、最高の思い出をつくってほしいと思います。

「とある先生の日常」

A先生は育児休暇を経て、約一年半ぶりにこの学年に戻ってきてくれました。教科は理科で、部活動はソフトテニス部の顧問です。まだまだお子さんも小さいので育児に追われながらも授業に部活、生徒との関りを大切にしながら日々、活動しています。そんなA先生は、目標に向かって粘り強く取り組み、希望進路に向かって、自らの力で道を切り拓いていける生徒の育成を目指して、一年間副担任として全力で生徒を支えています。